

授業科目の内容等

国際文化研究科 国際文化システム専攻

【 共通科目 】

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
文化人類学特論Ⅰ	2	李 鎮榮	この講義は文化人類学的社会分析ができることを狙いとする。大きく人間の営みを人・自然・超自然に分け、各分野における文化人類学の考え方を紹介する。「文化」とは人を取り巻く最も重要な環境であり、人間の行動を決定付けるのかを理解してもらいたい。講義に際して講義形式は最小限に留めたい。受講生による発表と議論を中心に考察していく。
文化人類学特論Ⅱ	2	李 鎮榮	この講義は文化人類学的社会分析を狙いとする。前期の文化人類学特論Ⅰに続いて、主に人間と超自然、人間と法（社会統制）を中心テーマに考えていく。講義に際して講義形式は最小限に留めたい。受講生による発表と議論を中心に考察していく。
経済政策特論	2	宮平 栄治	経済政策は、他の経済学分野と違い、極めて現実的課題を扱う。例えば、自然科学においては実験等を通じてデータを収集し、再生可能な情報を、他の社会科学においてはアンケート等を通じてデータを収集し、再生の可能性が高い情報を得、理論構築と展開を行うが、経済政策では実験を行い、失敗をする事はできない。この点を踏まえ、この講義では、経済政策の決定に関する諸課題を扱い、日本および世界経済の診断を行なう。
社会心理学特論Ⅰ	2	木村 堅一	大学院で扱う研究対象は「言語」、「経営」、「情報」、「環境」、「政策」、「健康」など幅があるが、実は共通点も存在する。どの領域の研究者であっても、必ずその研究対象に関わる現象を測定し、測定されたデータを加工、分類、比較、解析して、学術貢献あるいは社会貢献するための「新たな知・技術」を生産することを目的としている。本講座では、大学院での修士論文の執筆に役立つ社会心理学の「研究法」に焦点を当てる。また、社会心理学の研究法を学ぶことによって、受講生自らの研究デザインをお互いにブラッシュアップしあうことを目的とする。

授業科目名	単位	担当教員名	講義内容
社会心理学特論Ⅱ	2	木村 堅一	<p>大学院で扱う研究対象は「言語」、「経営」、「情報」、「環境」、「政策」、「健康」など幅があるが、実は共通点も存在する。どの領域の研究者であっても、必ずその研究対象に関わる現象を測定し、測定されたデータを加工、分類、比較、解析して、学術貢献あるいは社会貢献するための「新たな知・技術」を生産することを目的としている。本講座では、「社会心理学特論Ⅰ」に引き続き、大学院での修士論文の執筆に役立つ社会心理学の「研究法」に焦点を当てる。また、受講生自らの研究デザインをお互いにブラッシュアップしあうことを目的とする。</p>
環境生態学特論Ⅰ	2	田代 豊	<p>サンゴ礁海域の環境は、人間活動の様々な影響を受けている。本特論では、主として水質変化を介しての影響に関する最新の研究の動向を学習する。授業は学術論文等（主として英文）を各自で読解し内容をまとめたものを、受講生相互が発表する形式で進行する。</p>
環境生態学特論Ⅱ	2	田代 豊	<p>砂浜は、人間社会に様々な恩恵を与える反面、人間活動の影響を直接受けることが多い環境である。本特論では、砂浜における環境と生態系に関する理解を深めることを目的として、その物質とエネルギーの動態について理化学的な見地から解説する。</p>
人間健康科学特論	2		<p>人間と健康の概念は、幅広く奥深い。現在健康科学に求められているものは、少子・高齢化する国民の健康維持と身体活動を通して、国民の豊かな生活に寄与することと考えられる。そのため、健康とその意義から、心身の発育・発達と健康、職業と健康、環境と健康、これからの社会と健康について、幅広く考えていく。さらに、これからの、時代からの社会的要請と、体育・スポーツ・健康科学の高度化・多様化に応えるために、広い視野と高度な知識を得るための科目である。</p>